

# For

*Our Policy is "For the Society , For the Patient , For Myself"*



photo by F.NAKAMURA

## CONTENTS

■映画紹介 『男が女を愛する時』 .....	1・2
■身近な病気「アルコール依存症」とは? .....	3
■グループホーム 南寿の里「丘の家」「雲の家」 .....	4
■精神保健福祉の現況 in カナダ .....	5・6
■特集 混合診療って何? .....	7・8
■おすすめの一冊 .....	9
■地震災害とPTSD .....	9
■寒~い冬のあったか料理 おうちで簡単 本格チーズフォンデュ .....	10
■花言葉「さざんか」 .....	10



# 男が女を愛する時

When a Man Loves a Woman

「アルコール依存症」というきっかけにより、家庭崩壊寸前にまで追いかれながらも必死に真実の愛を守ろうとし、傷つき苦しむ夫婦の姿を描いた感動のラブ・ストーリー。

## STORY

夫の『マイケル(アンディ・ガルシア)』は飛行機のパイロット。そして、妻『アリス(メグ・ライアン)』は語学教師。2人には、アリスの連れ子『ジェス』と2人の間に授かった『ケイシー』がいた。

マイケルとアリスは、一見するとごく普通の幸せな家庭を築いていた。

そのような中、アリスは、仕事柄留守がちなマイケルへの恋しさや、家庭と仕事を両立する事の難しさなどから、その不満や欲求を満たすためにアルコールを口にする機会が増えていった…。そして、「家族に迷惑をかけたくない、不安にさせたくない」と思いながらも、アルコールへの依存はますます強まる一方だった。

アリスは、お酒を控える事を一度は約束するが、その約束は簡単に破られてしまう。

クローゼットに隠してある飲みかけのアルコールボトルを路上のごみバケツに捨てようとするが、ボトルを捨てきれず、その場で飲み干す始末だった。

アルコールへの依存はかなり深刻化し、とうとう夫マイケルが仕事で不在の時に大量飲酒しバスルームで倒れてしまう…。

アリスはマイケルとの話し合いの末、治療施設への入院・治療を決意する。

アルコール依存症”という病気を軽視していたマイケルは「入院すれば治るもの」と思っており、施設から電話をかけてきた妻に「もう大丈夫だね」という簡単な言葉だけで片付けてしまう。彼女の苦しみやつらさを理解しようとはしないマイケルのその言葉を聞き、アリスは態度を一変させる。

妻を変えてしまったアルコールへの憎悪を、家中のアルコールボトルを路上のごみバケツへ投げ捨てる事でぶつけるマイケル。そこには後悔と虚しさが残るだけだった。

退院後の生活を不安に感じていたアリスに、同様の経験をしたカウンセラーの言葉が胸に響く。

新たな気持ちで退院後の生活を始めようとするアリスだったが、抱えていた問題は何も解決していないかった。

マイケルは、アリスを愛していたが、妻の本当の苦悩を未だ理解出来ずにいたのだ。

ぎくしゃくする生活を修復しようと二人でカウンセリングに行くと、互いにきちんと話し合う事を勧められる。しかし、マイケルの努力も空しく、



©Touchstone Pictures

2人の間に距離をおこうとするアリスにマイケルは激怒する。

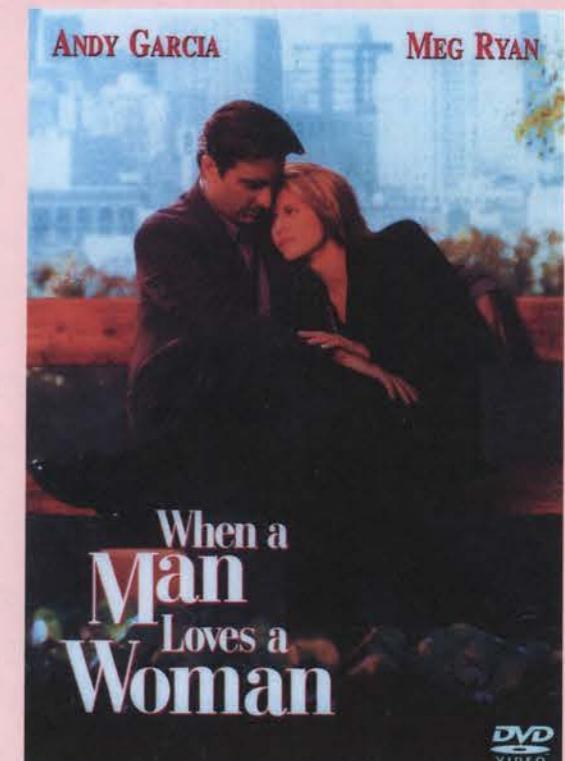
2人は離れ離れとなり、自分の心をみつめなおす。

### <感想>.....

成人すると何かとお酒を飲む機会が生じるもので。仕事上の付き合いや、飲み会などなど…。お酒には、人との交流を密にしたり、気持ちを和ませるなどの良い効果があります。しかしこの映画では、お酒のもう一つの面を感じさせられました。それは、良い効果のすぐ裏側には、生活を脅かすほどの「依存性」という魔力があるということです。そして、人は誰しも容易にその魔力にとりつかれてしまう弱さをもっているということ。

アルコール依存症に対しての認識は、これまでそれほど強く持ったことがありませんでしたが、この映画から、どうしても酒に手が伸びてしまいそれを止められない気持ち、飲んだ後の自己嫌悪、アルコールによる禁断症状など、様々な葛藤とアルコールの恐ろしさを知りました。そして、その回復には、何よりも家族の支えや愛情が必要だという事。

この映画は、依存症がもたらす様々な苦悩と回復のために必要な事を考えさせてくれます。



出 演: アンディ・ガルシア  
メグ・ライアン 他  
発売元: ブエナビスタ・ホームエンターテイメント

# 身近な病気 「アルコール依存症」とは?



## ■「アルコール中毒(慢性アルコール中毒)」と 「アルコール依存症」の違いは何でしょう?

もともと中毒とは、「体の機能に異常をきたすこと」「のめりこんだ状態」を意味します。一方、依存とは、「それに頼ることで成り立っている様子」を示しています。

飲酒によって悪影響が出る場合、飲酒者はアルコールを毒とわりながらも飲み続け、状況を悪化させ続けてしまいます。よって、今から飲まないでおこうと思っても止められない状態は、中毒というより「依存症」という表現が適切であるということになり、「アルコール依存症」と呼ぶようになりました。

これは、誰にでも起こりうる病気なのです。

## ■アルコール依存症の「症状」と「治療」は?

お酒は、肝臓を悪くするだけではありません!

アルコールは、感覚・知能・循環・消化・代謝・運動等に関わる器官ほぼ全部に影響を与えます。また身体だけでなく、家庭や社会への影響があります。

アルコール依存症者の平均寿命は52歳と、短命である事が報告されています。

この病気は表面化するまでに時間がかかります。なぜならば、ほとんどの患者さんは、飲酒で肝臓を壊したと理解をしていても、自分をアルコール依存症とは考えていないからです。

アルコール依存症の治療には、専門的な知識が必要です。

治療は、主に入院による治療が必要です。入院は肝臓などの身体的治療と、断酒に向けて正しい知識の学習、体力づくり、対人関係技法(人との付き合い方など)を学習します。

また患者様と同様に、家族の方にも治療に参加していただく「家族療法」も、回復への糸口となります。

## ■治療に必要なことは…

- ①意志や人格の問題ではなく、「病気」であることを理解する。
- ②治療や援助が必要であること。
- ③治療や援助を受ければ回復すること。
- ④患者様を取り巻く環境の変化も必要であること。
- ⑤家族の協力が必要なこと。

## ■依存症はアルコールだけではない!

依存症はアルコール以外にもあるのです。  
食べ物依存(摂食障害)、薬物(ニコチン含む)依存、ギャンブル依存、セックス依存、インターネット依存等さまざまな依存症が挙げられます。これらは、老若男女全てに共通する病気なのです。

当院では、「アルコール依存症治療プログラム」を実施しております。  
お気軽にご相談ください。

☎ 0178-27-2016

# グループホーム 南寿の里 「丘の家」「雲の家」



痴呆対応型共同生活介護施設

グループホームは、痴呆性高齢者の方が家庭的な雰囲気の中で、日常生活を共に行うことで、痴呆症状の進行を穏やかにし、家庭介護の負担軽減や、痴呆症の緩和を促すことを目的とした介護サービスのひとつです。

## 目的

南寿の里では、日常生活の中に機能訓練(リハビリ)を取り入れながら共同生活を行い、痴呆の進行を穏やかにして、安定した生活を支援することを目的としています。また、少人数制の介護を行い、入所者様の意思を尊重し「個」を大切にしています。

## 特色

スタッフが一方的に介護するのではなく、入所者様にそれぞれが持つ能力を生かしてもらう「生活リハビリ」中心のケアです。南寿の里では全室個室対応で、使い慣れた家具や小物を持ち込んで頂くことにより、自分の家のような環境で日常生活を送られ、スタッフは見守り中心のケアを行います。

## グループホームでの多面的効果

- ・ ゆったりとケアをする事で体調が良くなります。
- ・ 徘徊などの周辺症状の軽減がみられます。
- ・ 室内外に活動の場が広がります。
- ・ 表情が明るくなり会話が増えます。

## 南寿の里の生活風景

南寿の里では、家庭的な雰囲気の中で生活リハビリが行われ、食事作りや趣味活動もプログラムの一つとなっています。食事作りは献立作りから盛り付けまでをスタッフと行いますが、スタッフが味付けを教わることもしばしばあります。

趣味活動は、畑作業や裁縫、唱歌、読書など個々の希望に合わせて、気の向いた時に時間を気にせず活動して頂いております。その他、食事時間や入浴時間も基本的には自由になっており、個々のライフスタイルに合わせた生活環境を提供しています。



畑作業

収穫

文：グループホーム南寿の里 村山 亜矢子

## 第三者評価機能とは

厚生労働省が、全ての痴呆性高齢者グループホームでのサービスの標準化を図ることを目的に「第三者機能評価」を義務づけ、毎年実施することとしました。南寿の里では、平成16年1月、評価基準の全項目中「良く出来ている」との評価を受けております。

ご利用・見学希望の方は

グループホーム 南寿の里

窓口：☎ 0178(27)3027(南山苑まで直接ご相談下さい。)

# 精神保健福祉の現況 in CANADA



## ACT アクト (Assertive Community Treatment)

ACTとは？

重度精神障害者の社会復帰を進める手法として注目されているのが、「アクト」と呼ばれている包括型地域生活支援プログラムです。

諸外国における取り組みの結果、包括型地域生活支援プログラムを導入することにより「入院期間の短縮」「地域生活の安定」「患者様の満足度」について、明らかな効果が報告されています。

今後、日本でも包括型地域生活支援プログラムの手法を導入することにより、重度精神障害者も入院治療から地域生活中心への移行が進むことが期待されます。



## ～重度精神障害者の社会復帰 ACTへの取り組み～

地域生活支援センター 青明舎  
大嶋 範子

04年10月カナダ・トロントへ行ってきました。出発の日、台風の真っ只中で、ジェットコースターに乗っているかのよう、歓声(悲鳴?)をあげながら飛び立ちました。トランジットのニューアークへは予定時間を大幅に遅れて到着、乗り換えのトロント行きの便はすでに離陸した後でした。私たちは空港ロビーで1泊するしかありませんでした。参加者がここでうちとけることが出来たのは、ちょっと良かったかもしれないのですが。……にしても辛かったです。

今回の旅はトロントにあるマウントサイナイ病院で行われている、ACT(Assertive Community Treatment)を体験するのが目的でした。ACTは70年代にアメリカで始まり、今は世界各国で行われています。重度の精神障害を持つ人たちも地域で生活できるよう支援しようというものです。日本でも試行的に行われているし、独自のACTを行っているところもあります。

実際にACTの活動を見て驚きました。幻聴に支配された行動をしている、かなり重度の症状がある人も地域で生活しているのです。スタッフは時には日に数回訪問して服薬を促したり、生活状況を確認したりしていました。日本のほとんどの所では入院が適当と判断されるに違いなく、適切な援助・支援があれば地域で生活できると言うことを実感しました。しかし、日本では、社会保障の費用が大幅に削られつつあり、このような綿密な支援が出来るのかどうか、難しい現状になってきているのは、心配なところです。



↑クラブハウス



↑モーニングミーティング



↑グループホーム

スタッフの職種は看護師やソーシャルワーカー等様々ですが、チームワークがとても良いことも印象に残りました。常に最新の情報を共有し、常にバックアップ体制が出来ていて、常にチームの一員として動いているのです。

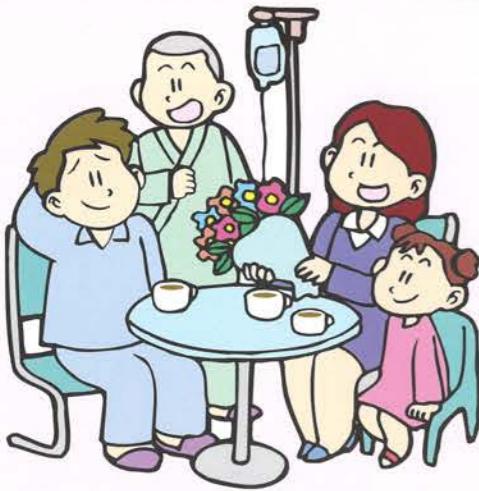
国の制度や背景は異なりますが、文化の違いを超えて活かせることは多々あります。見てきたもの、感じたことを私のチームに伝え今後の障害者支援に繋げたいと思います。

10月のトロントは紅葉の季節でメープルがきれいに染まっていました。ナイアガラの滝が雨

でよく見えなかつたのは残念でしたが、日常から離れて十分にリフレッシュでき、日本のよさも感じた旅でした。



カナダを代表するナイアガラの滝



特集

# 混合診療って何？

みなさん、「混合診療」という言葉をご存知でしょうか？今の政府は、財政難（医療費拡大）の対策として、この混合診療を進めようとしています。しかし、「混合診療」に問題点は無いのでしょうか？

混合診療とは、健康保険の範囲内の分は健康保険で賄い、範囲外の分を患者さん自身が負担することで「費用が混合すること（図）」を指します。

※今現在は、平等な医療を提供するという概念のもと、健康保険範囲外の診療に関する費用を徴収する事は禁止されています。もしも、別途徴収をした場合は、その疾患に関する一連の費用は、初診に遡って「自由診療」として全額患者さんが負担するルールになっています。例外として認められているものは、差額ベッドや新しい高度な医療技術などのごく一部です。

混合診療が認められれば…

これまで健康保険では認められていない特殊な医療や特殊な薬などを使う事が出来るようになる可能性があり、メリットも有ると報道されています。

考えられるメリット

- ★ 日本の健康保険で認められていない医療や薬が使えるようになる。
- ★ 現在の健康保険で使用制限がある物品や薬に制限が無くなり、患者の希望する分だけ使う事が出来る。

しかし!!そのメリットの裏には、こんな問題点が隠されています。



## メリットの裏側

- ① 混合診療が認められることによって、これまで健康保険で診ていた療養（風邪、生活習慣病など）までも財政難解消のため「保険外」となっていきます。
- ② お金のある人は高度な医療を受けられ、無い人はそれなりの医療しか受けられなくなり、医療に不公平が生じる可能性がある。
- ③ 健康保険以外の費用を負担するために、民間の保険会社に入る必要が出てくる（民間の保険会社はあくまでも営利目的）。
- ④ お金次第で外国の薬が簡単に使える事が出来るようになるが、十分な検討や規制が無い分、過剰診療となったり、重大な健康被害が拡大する

これらの事を考えると、混合診療は本当に良い制度なのでしょうか？

我々医療従事者としては、

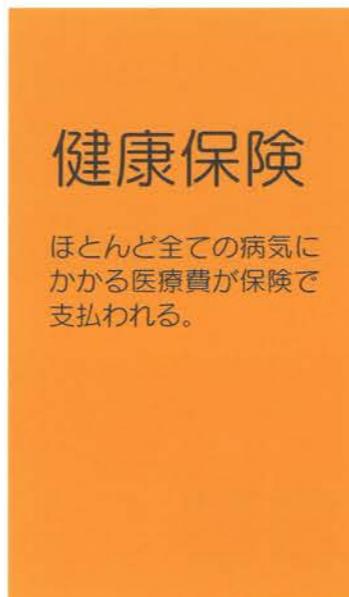
- ① お金の有無で健康や生命が左右されるような事があってはいけない！
- ② 医療は、教育などと同様に「社会的共通資本」である！
- ③ 医療は全ての国民が公平・平等に受けられる環境であるべき！
- ④ お金を持っている「自分だけが満足できればいい」という発想ではなく、「社会全体がどうあるべきか？」という視点を持つ必要がある！

と、考えるのですが…。

今後の動向が注目されます。

図)

現在



費用が混合

軽い病気や生活習慣病は自己負担となる。  
民間保険が、営利目的で参入する。

保険負担の割合は縮小。  
風邪などの軽い病気や高血圧などの生活習慣病は、公費負担対象外（自由診療）

ある大手保険会社の代表者は、

「80兆円以上の市場ですよ！何で反対するのか  
わからないなあ？お医者さんはあまいですねえ～」

と言ったという…。

医療を金儲けの道具にしたい商人たちが、この国を牛耳り始めている。  
本当にこれでいいのでしょうか？

おすすめの一冊

## 「たったひとつのたからもの」

写真と母・浩美の文章で綴る、

秋雪くんの6年間

重症のダウン症のため、6年3ヶ月で生涯を終えた息子(秋雪くん)を撮り続けた母(加藤浩美さん)が、105枚の写真と文章で綴った秋雪くんとの6年間の記録。本書の中にあった「人の幸せは時間の長さでも命の長さでもない…。ひょっとすると、喜びの量と悲しみの量、これが人間みな平等なのかも知れません。短い人生でも同じ量が詰まっているのかもしれませんね…」という言葉が印象的でした。俳優の丹波哲郎さんが、「障害を持つ子を授かった親は、神様が『この人だったら、この子を育てられるだろう』と選ばれたものなのだ…」と語っていた記憶があります。きっと秋雪くんも、神様が浩美さん夫婦に送った「たからもの」だったと思います。

障害者の方のみならず、そのご家族の方々には、想像を絶する程の大変さがあると思います。この本は、その大変さの中にも、たくさんの幸せ(思い出)が存在することを教えてくれます。

文：中野円香



著者：加藤 浩美 著  
税込価格：¥1,470  
出版：文芸春秋



## 地震災害とPTSD

今年10月23日に起きた新潟県中越地震では、震度6強の地震が複数回にわたって起り、周辺地域に甚大な被害を与えました。このような大災害は、被災者の心にも深刻なダメージを与えます。そうした被災者の心への影響のひとつに、「PTSD(心的外傷後ストレス障害)」があります。

PTSDとは、災害や事故など衝撃的な出来事を体験した際に受けた心の傷(トラウマ)が、精神的な後遺症となってしまうことです。PTSDを発症すると、原因となった体験が繰り返し思い出されたり、夢に出たりする、体験を思い出すような状況や場面を避けるようになる、不眠やイライラが

起こる、小さな物音に対しても過剰に反応するといった症状が見られるようになります。

このような症状が1ヵ月以上続くようなら、PTSDの発症が考えられます。しかしPTSDを発症した本人もその周囲の人たちも、「こんな経験をしたのだから、苦しいのは当然」と考えがちであり、自ら進んで治療を受けようとする少ないとされています。しかし、いかに本人が一見何事もなかったかのように振舞っていたとしても、心の傷は確かに存在しています。目に見えない心の傷を見逃すことなく、時間をかけてゆっくりとケアしていくことが大切なのです。

## 寒～い冬のあったか料理



～おうちで簡単  
本格チーズフォンデュ～

### ＜作り方＞

- ①まず鍋にニンニクの切り口をこすりつけて香りをつけます。
- ②そこにすりおろしたグリエールチーズとエメンタールチーズ各200g(無ければピザ用チーズ400g)、コーンスターク大さじ1、白ワイン150gを加え、良く混ぜながら弱火にかけて溶かします。
- ③チーズがトロトロになったら、後はひと口大に切ったパン、湯でたプロッコリーやジャガイモ、マッシュルームなどお好きな具をフォークに刺し、チーズに絡めていただきます。(食べる最中は、コンロの火をとろ火で鍋を加熱し続けて下さい。チーズは冷めると固まってしまいます)

花ことば

## 山茶花(さざんか)

camellia sasanqua

開花時期：11～2月

花言葉：謙讓(けんじょう)、愛嬌(あいきょう)

原産地：日本

「さざんか、さざんか咲いた道…」という童謡「焚き木」は皆さんも良くご存知かと思います。木枯らしの吹く寒い中で、垣根に灯る紅や白の山茶花。花の少ない冬の季節に咲く慎ましやかな風情がお茶席の花としても愛用されています。



## 私たちの理念

### みんなのために

すべての人達に、分け隔てない最善の医療を提供するよう努め、  
社会のニーズに応じて、自分達の出来る事を、実直に行っていきます。

### あなたのために

利用者本位を基盤とした、こころ暖かな医療環境と  
安心して受けられる安全な医療の提供に努めます。

### わたしのために

自分達の仕事に誇りと責任を持ち、  
自らに満足のいく仕事内容であるよう専心いたします。

## [ 診療・ご利用案内 ]

### 精神科・神経科・内科・心療内科 青南病院 ☎27-2016

- 受付時間 8:30~11:30 午後は予約診療となります。  
土曜日午後・日曜日・祝祭日休診
- 医療機能評価認定

### 介護老人保健施設 南山苑 ☎27-3027

- 入所及びショートステイ、デイケアなどお気軽にご相談ください。

### 痴呆老人グループホーム 南寿の里 ☎27-3027

- 家庭的な雰囲気を提供いたします。気軽にご相談下さい。

### 精神障害者生活訓練施設 青山荘 ☎27-6638

- 自立・社会復帰・社会参加のお手伝いをいたします。

### 精神障害者福祉ホーム 青風荘 ☎27-7658

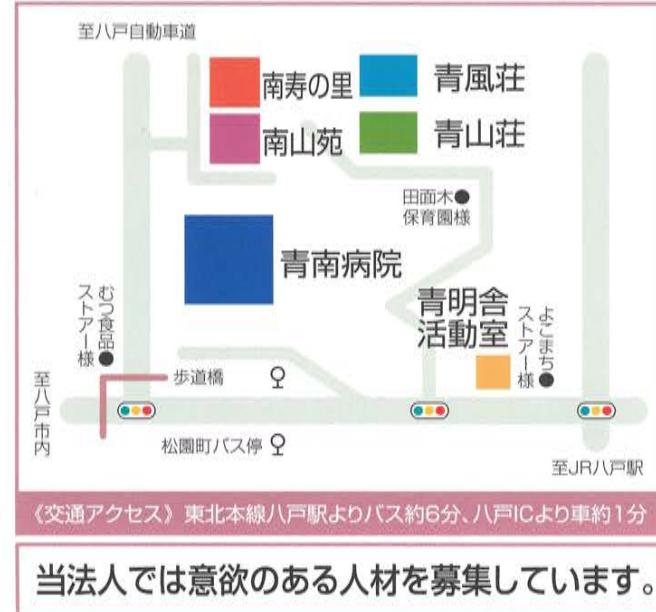
- 入院の必要性はなく、住居の問題や少々の身辺自立に問題ある  
精神障害者が対象になります。お気軽にご相談ください。

### 精神障害地域生活支援センター 青明舎 ☎70-2087

- 地域で生活を送る精神障害者の生活をサポートします。

### 訪問看護ステーション 五福 ☎41-1622

- 営業時間 月～金曜日 8:30～17:30  
営業日・営業時間外の訪問についてもご相談に応じます。  
24時間体制で看護相談に応じます。



当法人では意欲のある人材を募集しています。



photo by F.NAKAMURA

発行者／医療法人青仁会

千葉 潜

発行日／平成16年12月25日  
年2回発行